

床材のお手入れ方法

体育館(スポーツフロア)編



天龍木材株式会社

天竜工場

静岡県磐田市宮本350

TEL.0538-66-1125

FAX.0538-66-4973

床材のお手入れ方法

体育館(スポーツフロア)編

長い間スポーツフロアとして親しまれてきた木質フローリングは無機質な石油系シートフロアからでは決して得ることのできない「調湿機能」「断熱性(暖かさ)」「適度なクッション性」「精神の安定性」などの木材が持つ様々な恩恵を私たちに与えてくれます。しかし同時に木質フローリングは常に呼吸をしており膨張・収縮を繰り返し施設環境に順応しています。そのため木質フローリングには常に愛情を持ってお使いいただき維持管理に努めていただくことが重要です。

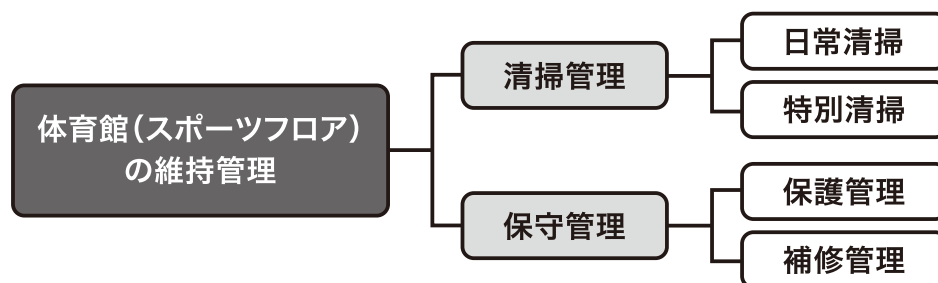
守るべき3点

体育館(スポーツフロア)を安全に使用し木質フローリングの剥離、ささくれによる事故を未然に防ぐために必ず守らなくてはならない点があります。

1. 清潔であること
2. 床表面の光沢・すべり等を快適な状態に保持すること
3. 破損及び摩耗箇所は放置されないこと

維持管理

体育館(スポーツフロア)の維持管理は下記のように分類されます。



日常清掃 … 体育館専用のモップで、体育館の利用前後に乾拭きを行う。

特別清掃 … 定期的に3～4回/年を行い、日常清掃で取りきれない頑固な汚れを除去する。

保護管理 … 水分・土砂・ワックス類の持ち込み禁止、土足厳禁、出入口に大型の足拭きマットの設置、重量物の運搬設置制限などの管理を行う。

補修管理 … 床金具の浮き、床の破損・滑り過ぎなどの補修を行う。

床材のお手入れ方法

体育館(スポーツフロア)編

使用上の注意点

1. 体育館の使用前・使用後には体育館専用のモップで清掃する。

体育館の使用中に空中に舞ったゴミやホコリは閉館後に一晩かけて床上に降り積もることになります。したがって体育館を使用する直前に体育館専用のモップで清掃するのが効果的といえます。もちろん使用中に髪の毛やゴミ、ホコリが生じますので、使用後も欠かさずモップ掛けによる清掃を心がけましょう。

2. 水拭き禁止

水分は木材の寸法を変化させ、反り等の変形を発生させるほか、割れ、ささくれの原因になります。またカビや腐朽の原因ともなりますので水拭きは行わないでください。

3. ワックス掛けの禁止

ワックスはポリウレタン樹脂塗料と比較して耐摩耗性が低いため、定期的にワックスを掛け直さないと滑りやすくなります。また補修や改修のためポリウレタン樹脂塗料を再塗装が必要になった場合、ワックスを塗った床はポリウレタン樹脂塗料をはじいてしまうためワックスの剥離作業を行う必要が生じます。この剥離作業においては、水分を含んだ剥離剤をある程度の時間床面に滞在させるため、水分が木質フローリングに浸透することで床面ダメージを与えることとなります。

4. ラインテープ

ラインテープは粘着力の強いものを避け、弱粘着性の専用ラインテープを使用してください。また貼りっ放しは厳禁です。最長でも1週間以内に撤去をお勧めします。またテープを剥がす際には手元に手繰り寄せるようにし、勢いよく引っ張り上げないようにしてください。

5. 椅子や机、器具を置く場合

床の上に椅子や机、器具等を置く場合はフロアシート(養生シート)を下に敷くか椅子や机等の脚にフェルト布などの柔らかいカバーを被せて木床を保護してください。

6. ネット支柱を立てる際

ネット支柱を立てる際にはネット支柱周りの木床を傷めないように注意し、スムーズに支柱を挿入できるよう2人以上で作業しましょう。

床材のお手入れ方法

体育館(スポーツフロア)編

7. 体育館専用シューズ(上履き)着用

木床にダメージを与える細かい砂や砂利を持ち込まないために体育館専用シューズを着用ください。ましてや土足での使用は厳禁です。

8. 体育館出入口に防塵用マットの設置

屋外の土砂の進入や油脂、ワックス等が靴底に付着したまま入ってしまうことを防ぐために、毛足の長い大型のマットを出入口に敷くことが最も効果的です。

日常点検・定期点検の実施

体育館(スポーツフロア)の点検は、日常点検、定期点検を軸として行い、使用者にも協力を仰ぎ、損傷を早期に解決することが望ましいです。修繕は、できるだけ施設管理者の責任のもと行うように心がけていただきたいところです。修繕とともに損傷の原因を取り除くことで再発を防ぐことができます。その原因が分かり次第、その除去に努めてください。

ささくれの処置方法

ささくれを発見した場合は、放置せず直ちに対処をしてください。そのまま放置しておくと、微細振動により隣り合う床板と摺れが生じ、ささくれから割れに発展してしまいます。軽微なささくれはその反対側よりカッターナイフ等で削り取るように処置してください。またかなり進展してしまったささくれや割れは、ピースまたは床板の張り替えが必要になります。ここで重要なことは、新品の床板に張り替えた後は、既存の床板と高さを合わせるためのサンディングが必要になります。また、雌実割れ(接合部分の割れ、欠け)が散見される木床は、それ自体の耐年数が過ぎていることを表しています。

以上が体育館(スポーツフロア)を上手に使っていただくためのポイントです。尚、その他さらに詳しいテナンス、維持管理方法などをお知りになりたい場合は『スポーツフロアのメンテナンス—スポーツ用木製床の維持管理と補修・改修マニュアル』日本体育施設協会(著)をご覧ください。